

From Classroom to Fieldwork 教室での学びと現場をつなげる

環境問題や対策の実態を知るためには、「現場」に身をおくことが不可欠です。

現場の状況を五感を通じて感じ取り、さまざまな立場の方と出会うなかで、自分なりの問題意識が育まれます。

教室の中だけに留まらない学びで、対話と協働の力を身につけていきます。

環境フィールドスタディ

1年次の必修科目のひとつとして、「フィールドスタディ」という授業を用意しています。全学生が全国9コースの行き先に分かれて、文理をまたぐ多様な専門性をもつ教員とともに環境問題の現場を訪れ、地域の経験から学びます。現地訪問の日数は、行き先により異なります(2泊3日、3泊4日程度、もしくは日帰りで複数回訪問)。

●スケジュール

4月	8月	10月
春学期	夏季休業期間	秋学期
コース決定	事前学習(計2回)	現地訪問
		振り返り学習

青森県つがる市

日本最大の風力発電所「ウィンドファームつがる」を見学し、再生可能エネルギー促進と自然環境保全のバランスについて考えます。



北海道羅臼町

雄大な世界自然遺産の中、環境保全や地域振興に関わる人との出会いを通して、持続可能な地域のあり方を学びます。



福島県大熊町、双葉町等

東日本大震災や原発事故からの復興に関わる現場を見学し、関係者との対話を通して、地域復興のあり方を考えます。



長野県安曇野市、大町市

利害関係者と協働しながら豊かな地下水・湧水を保全する取り組みを学び、環境分野での地域ガバナンスについて考えます。



長崎県対馬市

海洋プラスチックの実態を知るとともに、藻場再生や地産地消、グリーンツーリズムなど、「島」ならではの環境問題を考えます。



東京都多摩地区

都市型農業の現場を見学し、都市と農地のバランスについて学びます。また鳥獣害の実態を知り、人と動物の関係性について考えます。



熊本県水俣市

深刻な公害病に直面してきた地域の経験と、その経験を乗り越えるために活動してきた人々から学び、環境正義とは何かを考えます。



岐阜県郡上市

里山における地域振興、小水力発電、鳥獣害対策の実態を学び、豊かな自然と人々の暮らしの理想的なあり方を考えます。

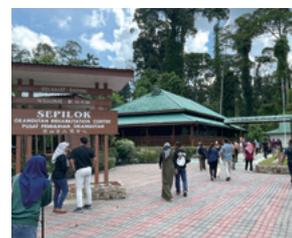


東京都23区、豊島区

施設見学や自治体・NGO職員からの講義を通して、巨大都市における水や廃棄物の対策を学びます。

海外でのフィールドワーク(2027年度以降予定)

ヨーロッパ、オセアニア、中央アジア、東南アジアなど、海外でのさまざまなフィールドワークも現在調整中です。国内とは異なる自然環境、社会経済・文化的状況に触れ、柔軟な思考と実践力を養います。



※国内外でのフィールド型実習科目では、学費とは別に参加費用が発生します。たとえば、「環境フィールドスタディ1」科目については国内の9カ所のフィールドから選択し、参加費用についてはフィールド先によって異なります。見込額:40,000円~120,000円程度。